

認知症サポート医に関する アンケートの結果

- 実施期間

令和4年11月4日～12月1日

- アンケートの依頼方法

垂水区医療介護サポートセンターよりFAXにて回答依頼

(送信先：垂水区内のあんしんすこやかセンター、居宅介護支援事業所、通所介護事業所、訪問介護事業所、訪問看護ステーション、老健、特養、有料老人ホーム、グループホーム、小規模多機能、、歯科医院、薬局、リハ三師会、病院地域連携室)

エナガの会ホームページ、Facebook、メールマガジン、ラインにて回答依頼

- アンケートの回収方法

Google Formを利用したWEB上での回答

- 有効回答数

100

アンケート内容

①基本情報

年齢・性別・職種・所属

②あなたは認知症サポート医について聞いたことがありますか？

③認知症サポート医にどのような役割があると思いますか？

認知症サポート医と実際に連携をとったことはありますか？

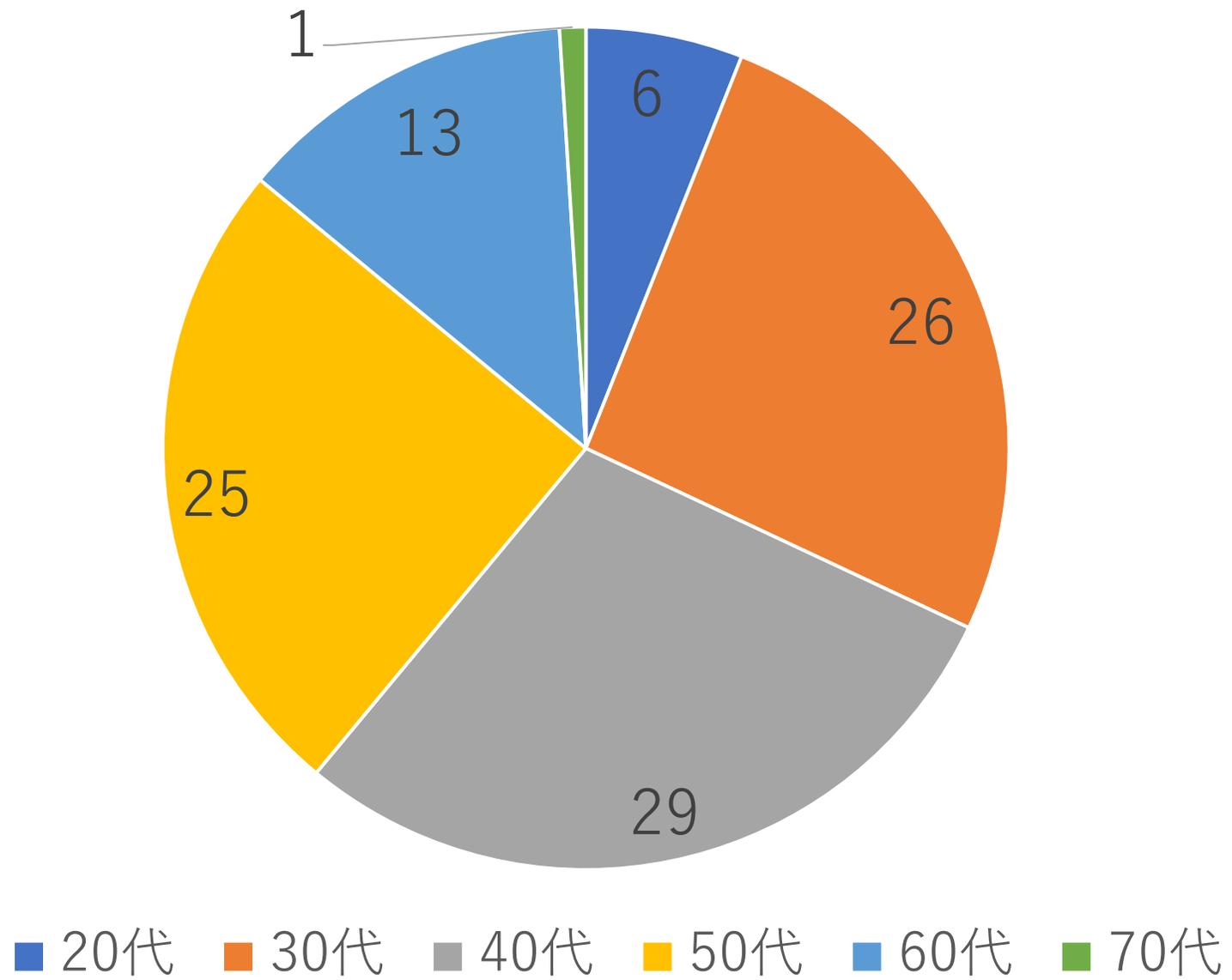
具体的にどのように連携をとったのか？

④認知症サポート医に期待することは何ですか？

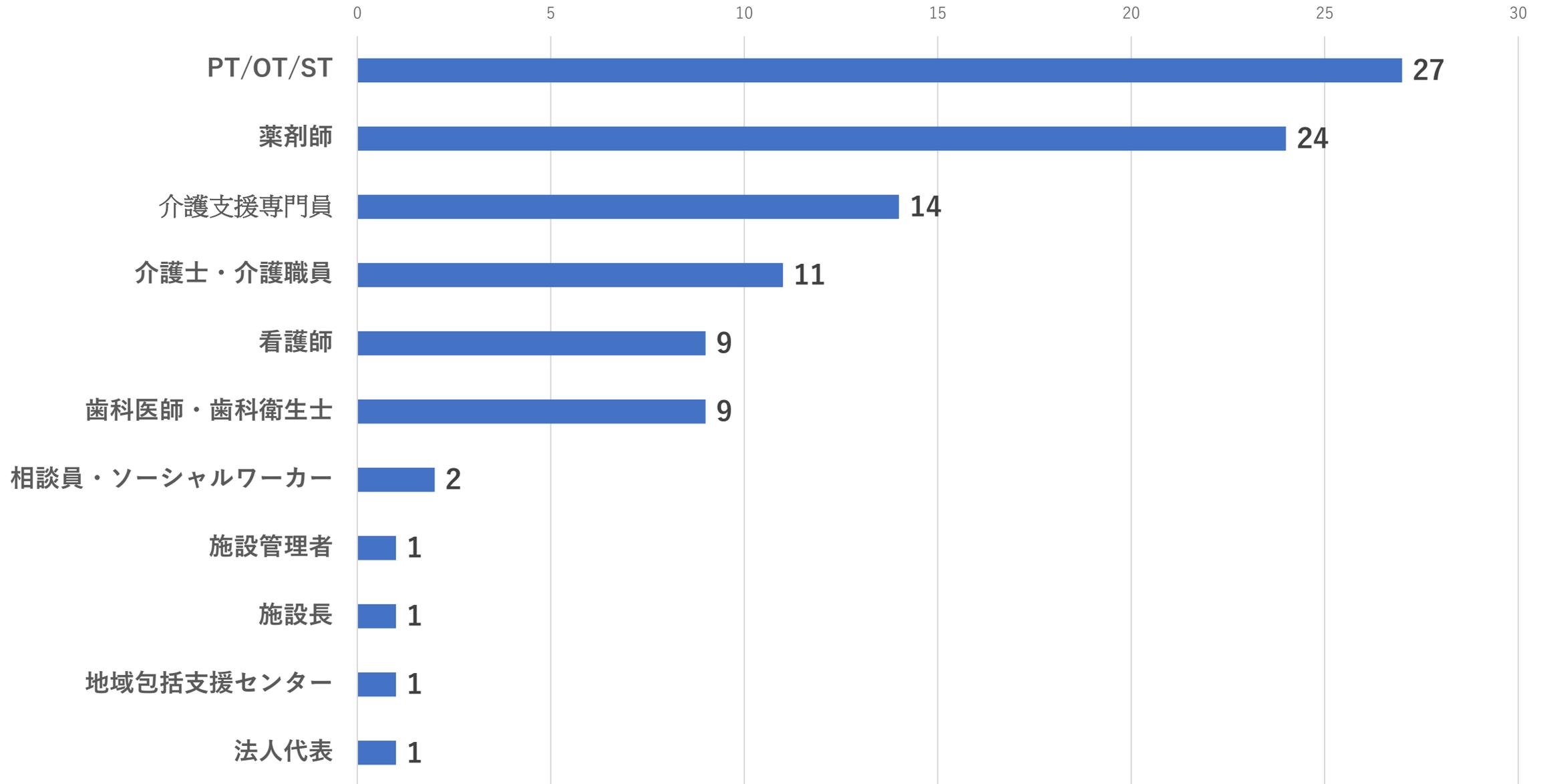
その他、認知症サポート医への要望

認知症の人やその家族を支援する際に、困っていること

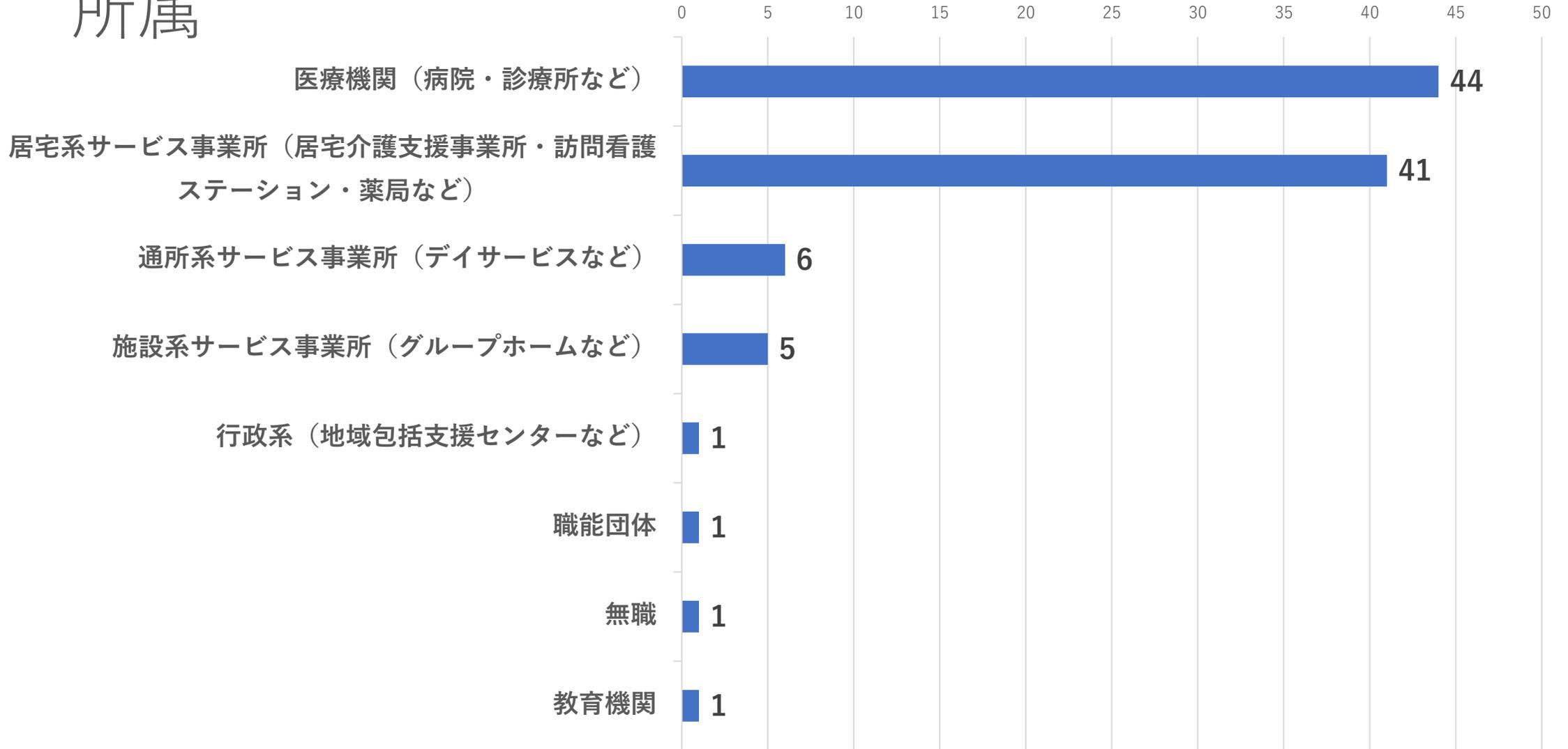
年齡



職種

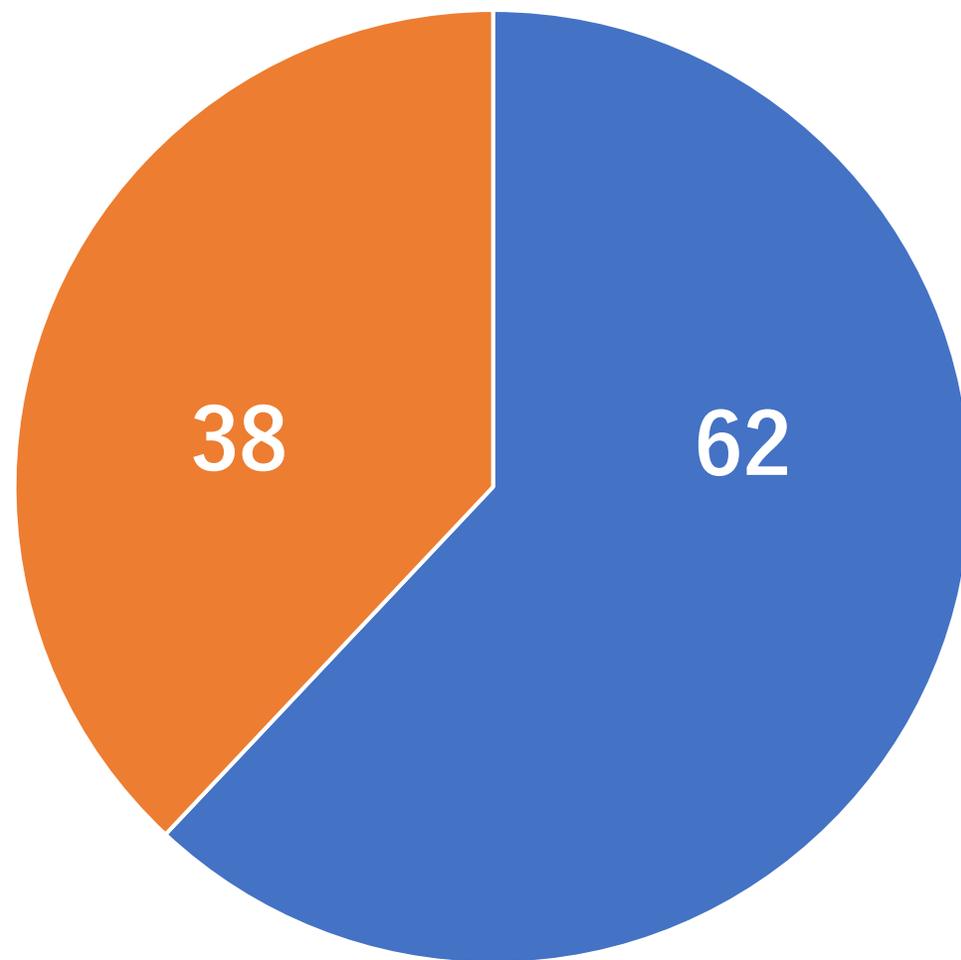


所属



	医療機関（病院・診療所など）	薬局など） 介護ステーション・ 援事業所・訪問看護	居宅系サービス事業所（居宅介護支援事業所）	通所系サービス事業所（デイサービスなど）	施設系サービス事業所（グループホームなど）	教育機関	行政系（地域包括支援センターなど）	職能団体	無職	総計
PT/OT/ST	24	3								27
薬剤師	11	11				1		1		24
介護支援専門員		13		1						14
介護士・介護職員		4	6	1						11
看護師	3	5		1						9
歯科医師・歯科衛生士	8						1			9
相談員・ソーシャルワーカー	1						1			2
施設管理者				1						1
施設長				1						1
地域包括支援センター		1								1
法人代表		1								1
総計	44	38	6	5	5	1	1	1	1	100

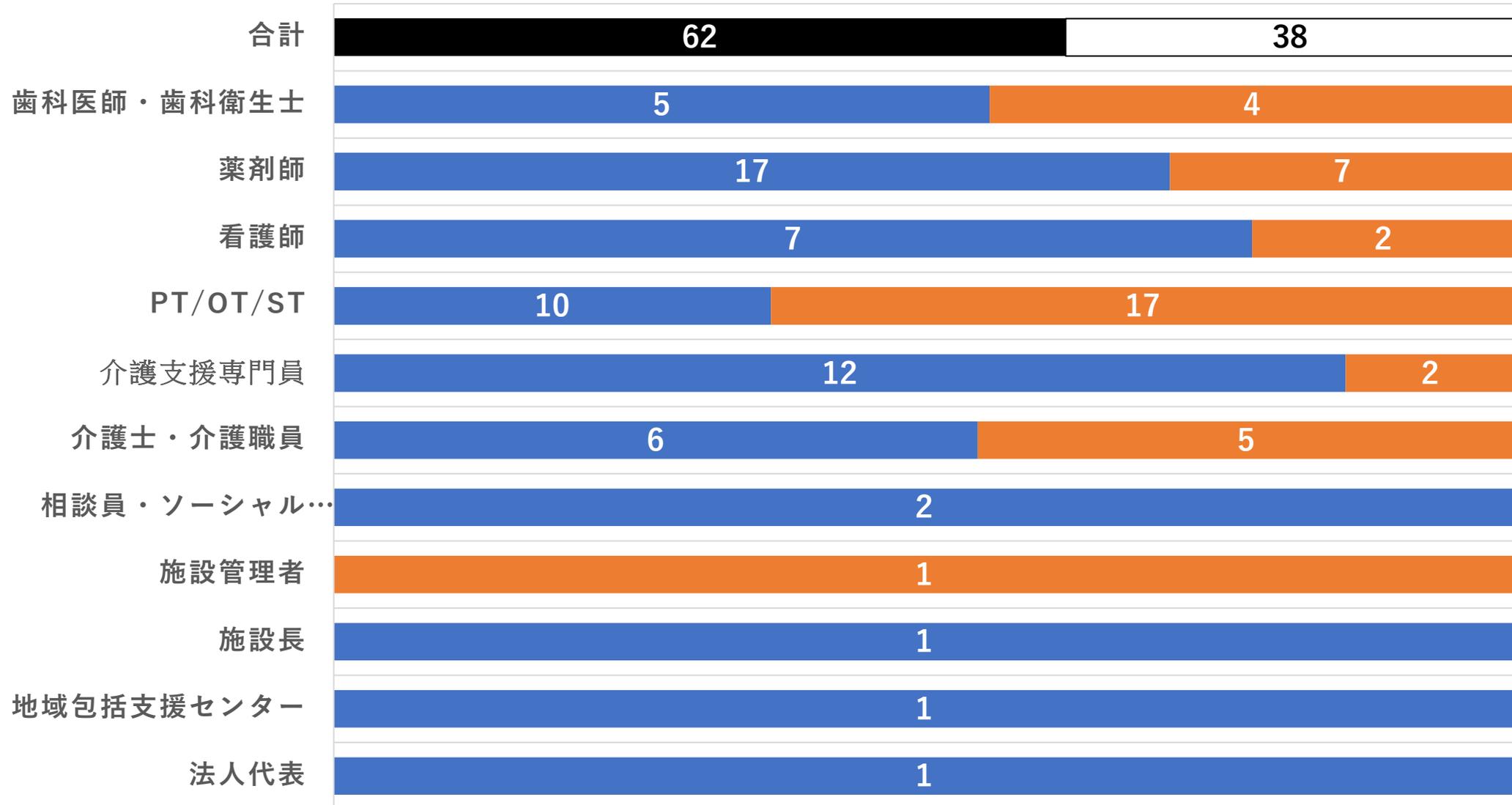
あなたは認知症サポート医について聞いたことがありますか？



■ ある ■ ない

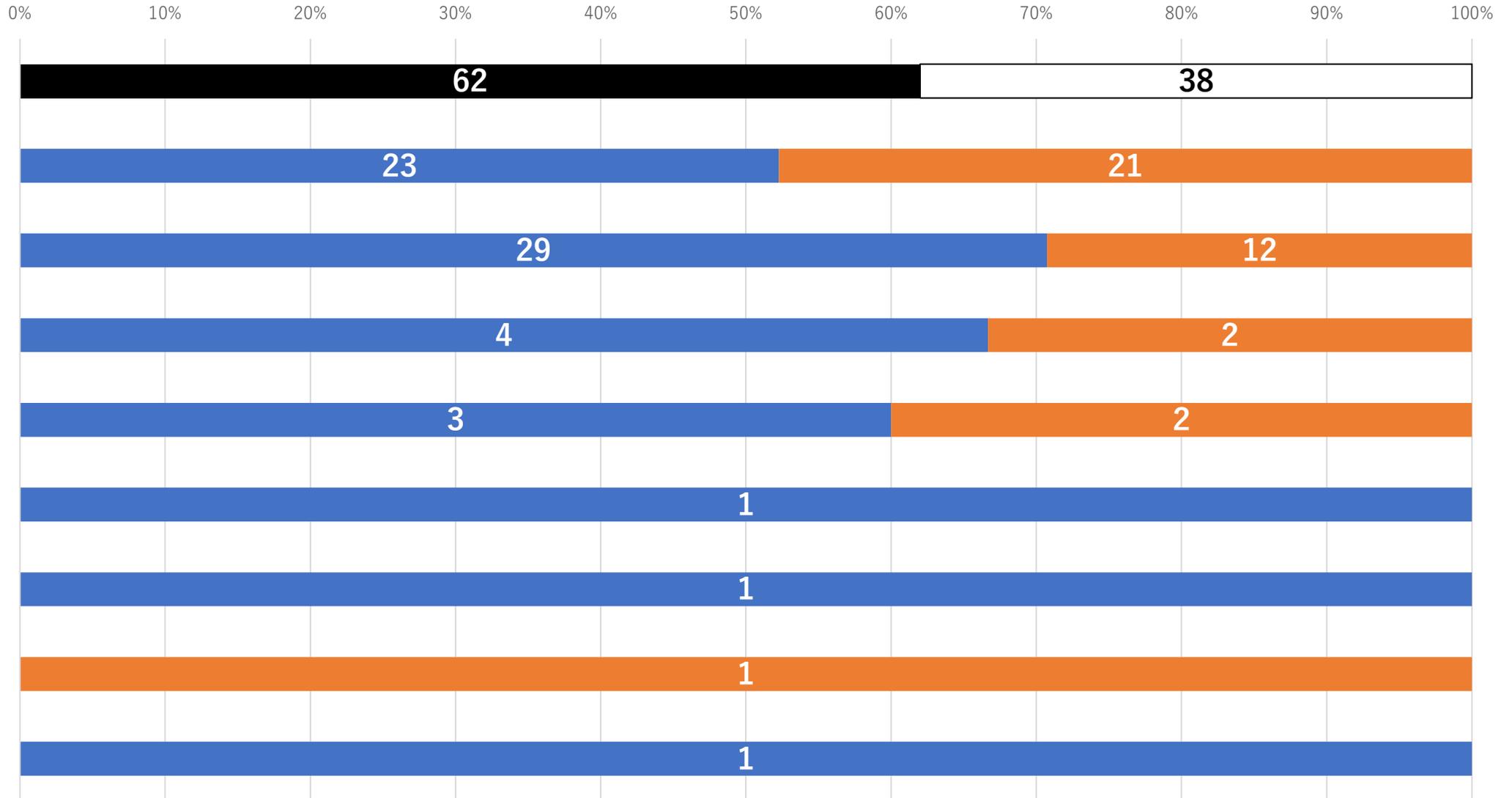
職種別 集計

■ ある ■ ない



所属別 集計

■ ある ■ ない



実際に連携をとったことがある：3名

- あんしんすこやセンターに勤務していた頃、ケアマネジャーにサポート医の役割や、認知症に関する知識の普及研修を依頼した。
(50代女性 介護支援専門員/居宅系サービス事業所)
- オレンジチームと連絡を取り、介護保険認定調査を依頼
(50代男性 相談員・ソーシャルワーカー/医療機関)
- 認知症の診断を受けないまま、地域で暮らし、生活状況が悪化した段階で周囲が知り、介護認定の申請をし、担当することになった事例。BPSDも激しく、認知症初期集中支援チームとも連携を図り、認知症サポート医への受診につながり、確定診断と、認知症ケアのアドバイス、BPSDの改善のための投薬調整といった支援を図るべく、連携を図りました。
(40代男性 介護支援専門員/居宅系サービス事業所)

認知症サポート医にどのような役割があると思いますか (n=62)



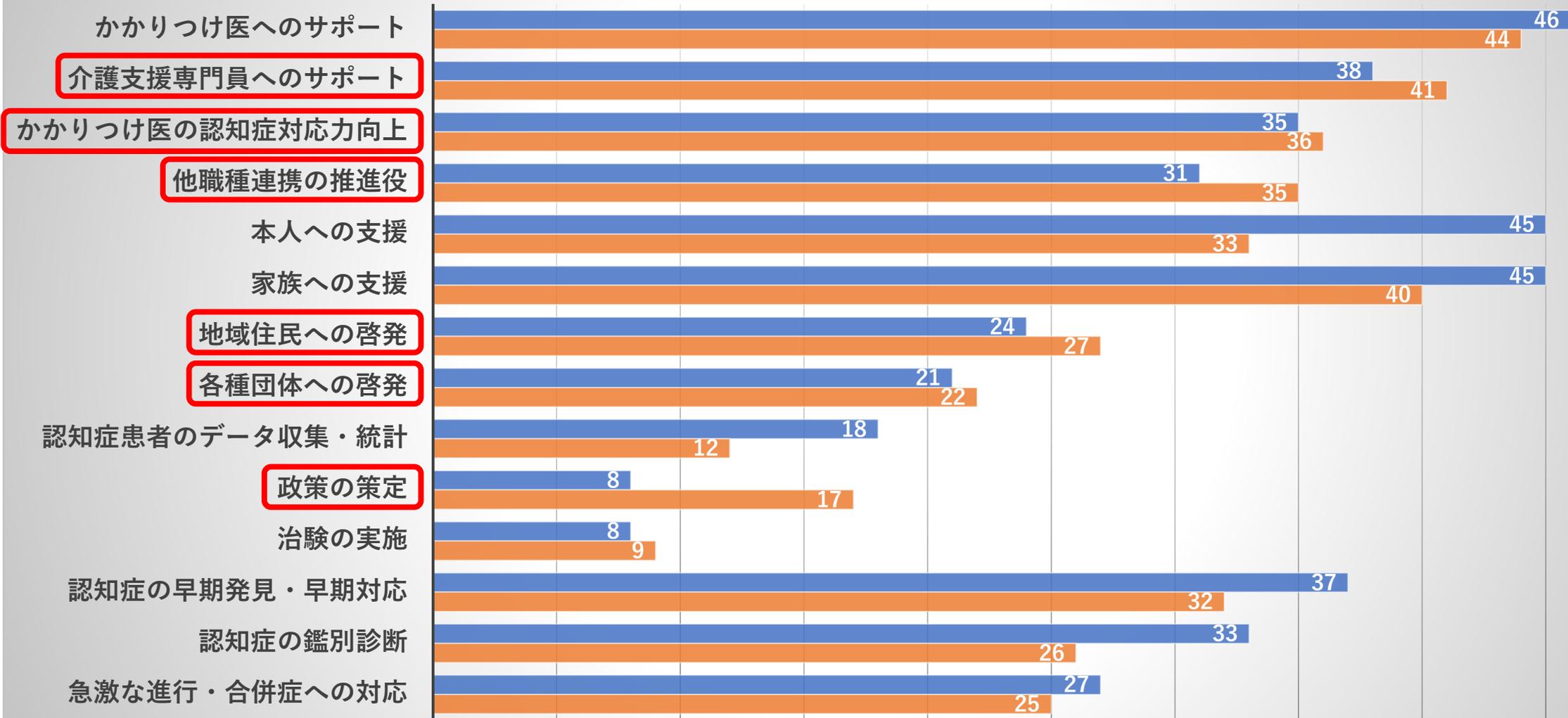
認知症サポート医に期待することは何ですか (n=100)



知っている役割/望む役割の比較（聞いたことある人）（n=62）

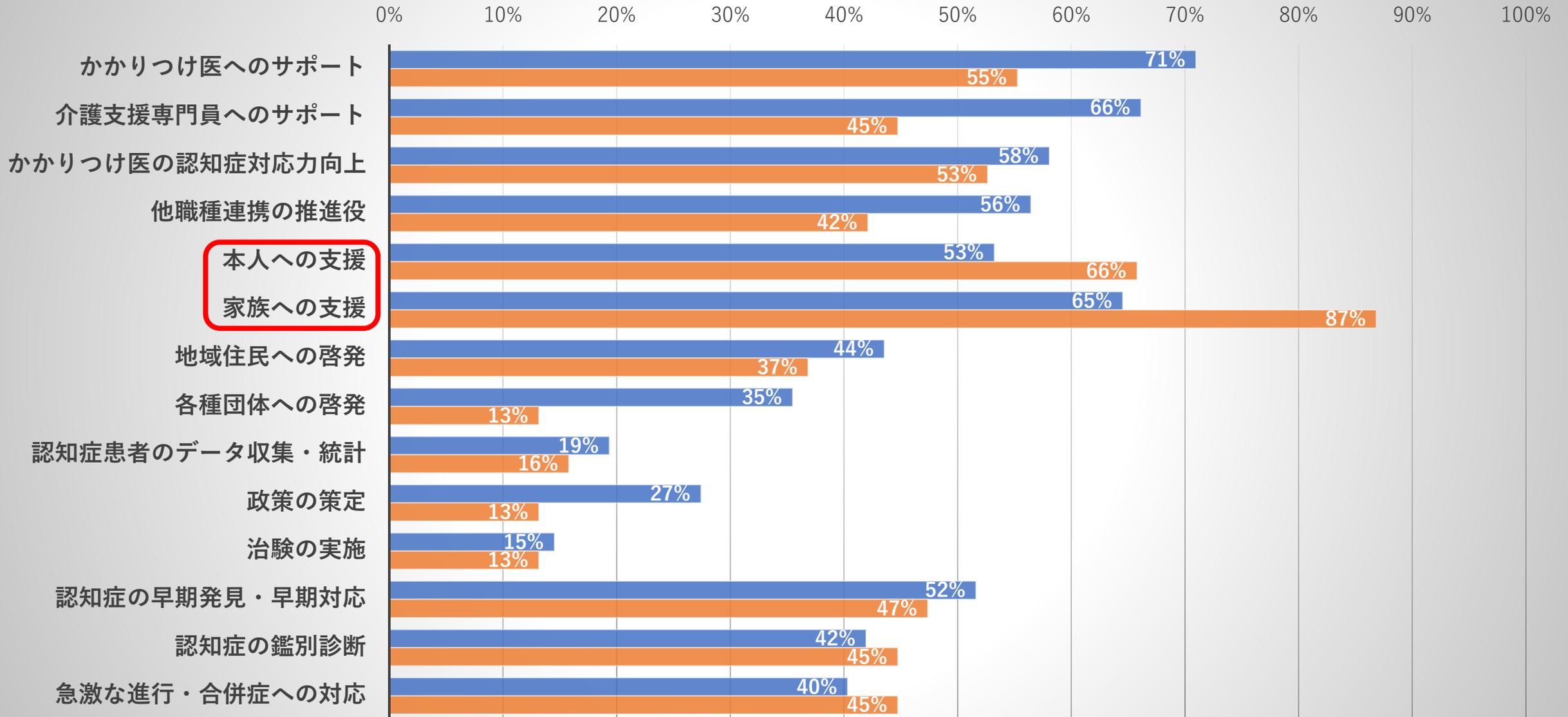
■ 知っている ■ 望む

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50



望む役割 聞いたことある (n=62) / ない (n=38) 比較

■ 望む (ある) ■ 望む (ない)



認知症サポート医に対する要望

40代	女性	介護士・ 介護職員	通所系サ ビス事業所	薬を処方する前にしっかり本人と介助者を見て、薬以外の対応できることがあれば教えてほしい
30代	男性	薬剤師	医療機関	レビー小体型認知症やアルツハイマー型認知症等病名をはっきり教えていただきたい。
50代	男性	介護士・ 介護職員	居宅系サ ビス事業所	研修会開催
60代	女性	介護士・ 介護職員	居宅系サ ビス事業所	訪問介護サービスを提供する際に、個別のかかわり方や留意点を教えていただけると嬉しいです。
60代	女性	施設管理 者	施設系サ ビス事業 所)	認知症への理解がない医師が未だ多いので、啓発をお願いしたい。

認知症の人や家族を支援する際に困っていること

40代	女性	歯科医師・ 歯科衛生士	医療機関	家族の方の病気への理解度に差があり、環境も違う為、今後の予防、治療の支援プランが立てにくい。
60代	女性	介護支援専門員	居宅系サービス事業所	家族が認めなかったり、理解ができないことがあり、支援に繋がりにくい。
50代	男性	介護士・介護職員	居宅系サービス事業所	家族さんへのケア方法がわからない
60代	女性	介護士・介護職員	居宅系サービス事業所	ご自宅での様子や服薬状況などがかかりつけ医に正しく伝わっていないように思われることがあります。
50代	男性	PT/OT/ST	医療機関	家族に対する精神的やすらぎ
20代	女性	PT/OT/ST	医療機関	家族が本人の認知症や機能低下を受け入れられていない、もしくは、理解できていないことが多く、本人のリハビリや病棟での日常生活の状況を説明してもなかなか理解してもらえないことがある。
40代	男性	PT/OT/ST	医療機関	患者・家族・スタッフ間の十分な情報共有が難しい
40代	男性	PT/OT/ST	医療機関	認知症に対する家族の理解がなかなか及ばない

認知症の人や家族を支援する際に困っていること

30代	女性	PT/OT/ST	医療機関	どこに相談すれば、というご家族はまだまだ多い気がします。ケアマネがついていても当たり外れが強く、親身になって色々考えてくれる方ばかりではない現状です。
60代	女性	施設管理者	施設系サービス事業所	認知症でも「家族の前ではシャンとしていたい」という思いは残っているので、家族の前での姿と入居施設の職員に見せる姿が違い、家族の理解が得られないことがある。
30代	男性	PT/OT/ST	医療機関	支援する家族のマンパワー不足。
30代	女性	PT/OT/ST	医療機関	認知症の家族は、家人が認知症になるとは思っておらず認知症と認識するまでに時間を要します。実際、祖父が失便をして下着を隠し始めおかしいなと思い始めました。祖母も母(実子)も祖父とどのように接したら良いか悩みました。祖父も今の心情をどう説明したら良いか分からず双方悩んでいました。
50代	女性	歯科医師・ 歯科衛生士	職能団体	認知症かなと思っていても、仕事を離れた立場の時はなかなか踏み込めない
30代	男性	PT/OT/ST	医療機関	家族指導の際に、知見に基づく有効な関わり方、サポートの仕方を十分に説明できていないように感じています。
50代	女性	薬剤師	居宅系サービス事業所	認知症の方の家族が疲れてしまい、ケアが必要かと思います。ケアカフェ等お知らせしましたが、十分ではないかも知れません。
50代	女性	PT/OT/ST	医療機関	薬の知識が足りない ご家族の支援方法がわからない